

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和元年度 高松市美術品等収集審査会
開催日時	令和2年2月12日(水) 午後1時30分～午後3時
開催場所	高松市美術館 1階 講堂
議題	(1) 会長の選任について (2) 収集対象美術品の審議について (3) 答申について
公開の区分	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開
上記理由	審議内容に契約相手方の個人情報が含まれるため、情報公開条例第7条第1号に該当、及び公立美術館の購入価格の公表は市場の取引価格に影響を及ぼすため)
出席委員	池田委員、大場委員、北岡委員、小西委員、千葉委員、原委員、森委員
美術専門家	河本信治氏、潮江宏三氏
傍聴者	なし
担当課及び 連絡先	美術館美術課 823-1711

審議結果

(1) 会長の選任について

委員の互選により千葉委員が会長に選任された。また、会長職務代理には北岡委員が会長より指名された。

(2) 収集対象美術品の審議について

別紙「収集対象リスト」に記載の収集候補作品61点の選考及び評価について審議した結果、購入、寄贈候補作品の全てについて収集は可であると承認した。

●美術専門家（意見陳述）

・美術専門家

広く知られていないが、将来性に満ちた作家も網羅された現代美術、そして、レベルの高い漆芸品一括寄贈と市美術館のこれまでの仕事の経緯が表れた素晴らしい収集対象作品群である。さて、従来の美術館活動に加えて、外部との連携により、素材としてのコレクションを再解釈していき、美術館の可能性の域を広げではどうか。それには、行政側も想像力を駆使し、美術館とフラットな関係性を築き、均一な市民へのサービスとは異なる美術館活用により、可

## 審議結果

能性が開かれていると考える。

### ・美術専門家

弱視の照沼氏の作品は、私たちに欠けているものを喚起させられることになり、またアニメーション作品も楽しく一般の方々にも喜んでもらえるので、これからの展望が大きい。評価の高い風間作品も秀逸である。知的さと軽やかさにより、空間を一つの雰囲気でも占める大西作品も納得できる。宮永氏は、いまや関西のスターであり、説得力のある作品である。田淵氏への着眼も良く、全体に基本的な美術館活動の成果の表れである。

寄贈の漆芸作品は名品ばかりであるが、名品として見せるだけでなく、その日用的な細やかさにも優れており、生活の中でどう扱われていたのかといった見せ方に期待する。

### ●審査委員（意見陳述）

#### ・委員

美術専門家の俯瞰した陳述は、長期的な美術館の方向性を示唆いただき、また、もう一方の美術専門家からはそれぞれの作家や作品について極めて的確な批評をいただいた。

#### ・委員

一括寄贈漆芸作品は大変な財産であり、漆芸研究所生にも間近で見せたいほど。讃岐たかまつ彫漆の代表格の作品を目の当たりにし、勉強と感動である。模刻の妙技など展示に幅が持てるラインナップと言える。

#### ・委員

照沼氏の作品は「アニュアル展」でも衝撃を受けたが、今日、説明を受けつつ、より理解を深めたり、アニメーションの制作方法を知りえたので、今後展示の際には、そうした補足説明をテキスト等で加えてほしい。

#### ・委員

収集作品等の選定プロセスを知りたい。

→（事務局）館内で何度も協議し、美術界での評価・保存・収集費内のバランス等を鑑み、選定する。但し、大西作品のように、何年も前からアプローチして続け、課題とする条件が双方で合致した例もある。

メディアアートの今後の収集はあるのか。

→（事務局）メディアアートの魅力は尽きないので、収集には関心が高いものの、素材と出力機器等に不安があり、積極的な時もあれば、消極的になる場合もある。いずれによせ、課題である保存はクリアすべきもの。

#### 審議結果

→（事務局）池田亮司作品ほか、メディアアート作品は複数当館で所蔵している。

#### ・委員

若い作家のこの(大きな)サイズがタイミングよく収集対象になり、教師であり美術批評をしているので、周りに若い作家たちが居り、彼らを見ている者として、大変に嬉しい。作家の励みにもなる。また既に評価を受けている作家の作品もあり、全体としてバランスがとれている。

#### (3) 答申について

購入、寄贈候補作品の全てについて、収集は可であると、2月12日付で市長に答申することを決定した。